

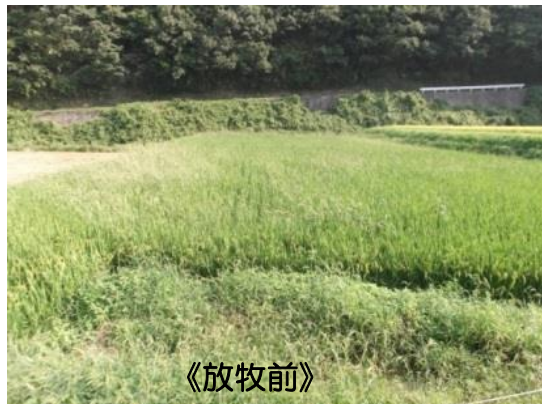
集落営農組織の多角化のかたち

～集落で放牧を始めてみませんか？～

○集落放牧とは何ですか？

集落営農組織等が、地域の水田や耕作放棄地等を活用して牛を放牧することで、農地の維持、地域の資源循環や集落の経営多角化を目指す取り組みです。

○水田を利用した放牧例と効果



水稻以外の水田活用の選択肢が広がり、農地の維持や省力的な管理につながります。

○集落営農で放牧するメリットは？

農地維持 …水田等を省力的に維持・管理することが出来ます

山口の放牧事例などを見て、耕作放棄地の解消や景観保全のために放牧を始めた。《(農)横尾衛門》

実践者の声



豊田組合長
(農)横尾衛門

獣害対策 …獣の住処と農地の間に緩衝帯が生まれ、獣害が軽減します

実践者の声



(農)須摩谷農場

イノシシの被害が酷かったが、牛を放牧してから被害は確実に減った
《(農)須摩谷農場》

収入確保 …集落に新たな所得が生まれ、雇用の場が出来ます

所得確保の一つの部門として畜産で収入を得ていきたい。
《(合同会社)出羽》

実践者の声



和團代表
LLC出羽

人材育成・地域活性 …共同作業の増加等により、地域の活性化につながります

実践者の声



山本組合長
三久須放牧組合

地域で共通の話題が増え、つながりが濃くなった。《三久須放牧組合》
牛の品評会に出品する等、地域に盛り上がりが出来た。《(農)かわしり》

○集落営農放牧実施事例

繁殖経営本格実施

繁殖雌牛導入!

地域：飯南町下来島 (農)かわしり
 取組開始年度：平成28年～
 ・農地を守るためには組合員から和牛の放牧しかないとの声があがったのがきっかけ。
 ・地域の空き牛舎を活用し、子牛市場から繁殖素牛を導入
 ・牛が導入されたことで法人内で稲WCS等の生産も開始

水田を活用した輪換放牧

複数集落組織による取組

地域：出雲市 斐川町肉用牛放牧地利用組合
 取組開始年度：平成11年～
 ・耕種農家は農地の作付ローテーションの中で飼料作物を栽培し放牧利用
 ・畜産農家は飼養管理労力低減、耕種農家は水田の転作利用と双方にメリット



〈耕作放棄地放牧(松江市)〉

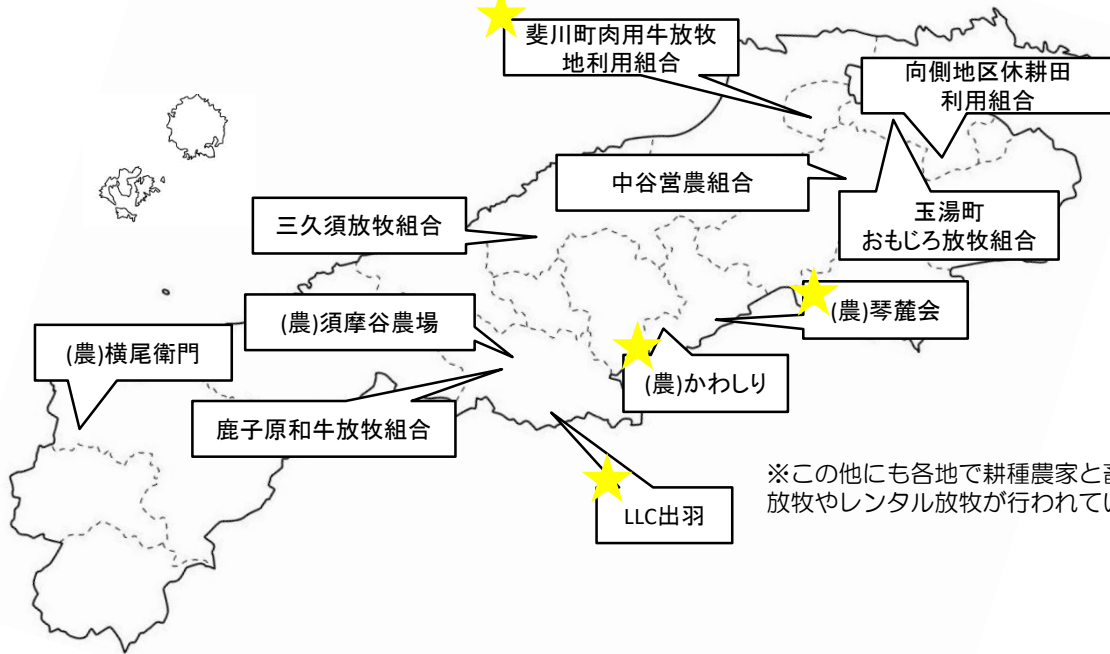


〈棚田放牧(雲南市)〉



〈水田放牧(斐川町)〉

○島根県の主な集落営農放牧実施組織は？



※この他にも各地で耕種農家と畜産農家の連携による放牧やレンタル放牧が行われています。

畜産部門で雇用創出

繁殖雌牛導入!

地域：邑南町 LLC出羽
 取組開始年度：平成26年～
 ・平成26年からレンタル放牧を開始し、平成28年度にLLC出羽で牛を購入
 ・畜産部門を取り入れることで県農林大学校から肉用牛専攻であった学生を雇用

農地維持主体

畜産農家との連携

地域：飯南町 (農)琴麓会
 取組開始年度：平成27年～
 ・中間管理機構からの農地の借り受けを行い、農地維持を目的とした放牧
 ・畜産農家所有の牛をレンタル放牧

○集落の心配ごとにお答えします！

Q.集落内に畜産農家がないのに集落放牧を始めることができますか？

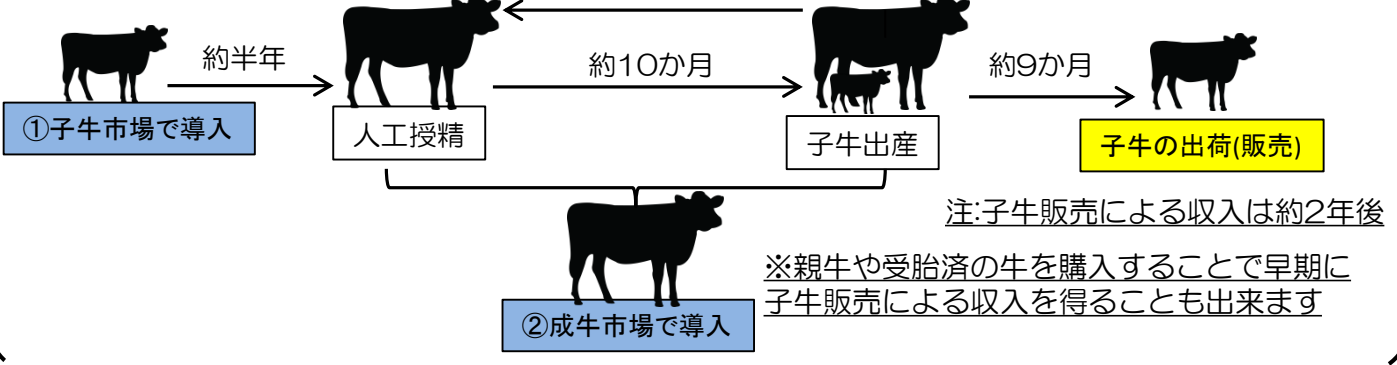
A.放牧牛がない地域では中山間地域研究センターの放牧牛や放牧用資材の貸出を行っています。
また、技術的な支援は地域普及部等が全面的に行います。

Q.放牧時に毎日しなければならない作業は何ですか？

A.牛の状態(脱柵していないか等)、電牧器の状況、飲み水や食べる草が足りているか等、数十分程度の確認時間です。

○子牛を出荷するまでにどれくらいかかるの？

〈畜産経営(繁殖経営)のイメージ〉

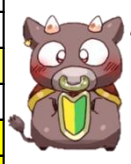


〈例：子牛市場で牛導入の場合〉

(単位：円)
(繁殖雌牛1頭あたり)
(水田畜産利用1haあたり)

年次(年)		1	2	3
収入	子牛販売額	0	0	567,116
	計	0	0	567,116
支出	飼料費	64,800	79,475	167,875
	減価償却費	23,684	204,160	204,160
	その他畜産経費	22,015	36,883	56,216
	種子代	0	43,600	43,600
	労務費	18,000	53,775	80,775
	育成費	-64,800	0	0
	計	63,699	417,893	552,626
営業外収入(交付金等)		0	350,000	350,000
収支(畜産)		-63,699	-417,893	14,490
収支(全体)		-63,699	-67,893	364,490

放牧開始当初は、その他必要資材等の購入等も想定されます。地域資源(畦畔の草等)も活用しながらコスト低減に努めましょう。



※金額は、地域の状況などにより変化します。
※子牛導入の経費が1年目に必要となります。
※繁殖雌牛1頭あたり水田利用1haを目安に試算しています。
※交付金は水田活用の直接支払交付金(飼料作物生産)を計上しています。

○水田放牧や飼料作により活用可能な交付金等(例)

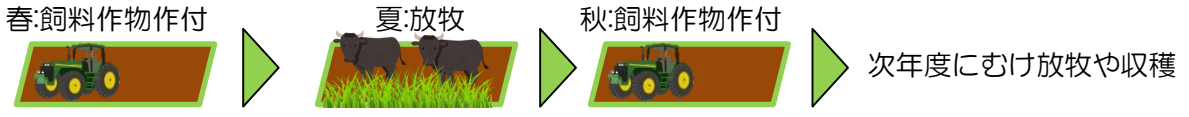
経営所得安定対策のうち水田活用の直接支払交付金

戦略作物助成(WCS用稲：80千円/10a、飼料作物：35千円/10a)

※平成29年度時点の助成対象及び額です。

※耕畜連携助成、二毛作助成は平成29年度から産地交付金へ移行。

(放牧作業例)



○お試し放牧までの流れ

1. 相談

Point! : アドバイスをもらい放牧のイメージをつかみましょう

牛の確保
放牧用資材
放牧に関する技術 等



2. まずは観察・触れてみる

Point! : まずは放牧を実際に見て牛に触れてみましょう

3. 地元との調整

Point! : 地域での合意形成が重要。事前に見回り等の役割分担を考えておく



4. 放牧場の準備

Point! : 放牧牛、放牧用資材はレンタルも可能



5. お試し放牧の実施

Point! : 牛に普段と違う様子があれば、普及部等へすぐ相談
電気牧柵の電圧、水の量等を脱柵がないよう逐次確認

※牛が食べ残した草は掃除刈が必要です



6. 放牧の本格実施に向けた計画づくり

Point! : まずは地域で可能な形での取組を考える
(①集落で牛を所有する、②畜産農家から牛を借りる、③レンタル放牧の継続)

Let's 集落営農放牧!!

お試し!

- 島根県中山間地域研究センターから放牧牛、放牧用資材を貸出
- ・お試し放牧で牛の草刈能力の高さや放牧の手軽さ等を体験
- ・放牧にかかる出費無し(補助飼料等の購入が必要となる場合はあります)

○水田を活用した畜産担い手育成強化(県)

- ・地域でお試し放牧を行う際の経費の助成
- ・地域内でお試し放牧牛を確保するため「放牧牛バンク」を設立

購入!!

○繁殖雌牛、放牧用資材の購入には様々な事業の活用が可能な場合がございます。
(活用可能な事業例)

- ・水田を活用した畜産担い手育成強化(県)・・・放牧牛等購入にかかる助成
- ・集落営農体制強化スピードアップ(県)・・・集落営農が新たに放牧等を行う際の支援
- ・地域づくり放牧推進事業(国)・・・放牧牛、必要資材等の購入、調査経費等の助成

※レンタル放牧、放牧関連事業のご相談は各地域普及部、JA地区本部等へ申し出ください

お問い合わせはお近くの農林振興センター(地域普及部)または下記連絡先まで御連絡下さい

農業技術センター畜産技術普及課 : 0853-21-9110
畜産技術センター : 0853-21-2631
畜産課しまね和牛振興グループ : 0852-22-5136
農業経営課担い手育成第一グループ : 0852-22-5395